

EGOTERIC

AZ-1s

取扱説明書






エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。





エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。





 警告 以下の内容を見無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。	
 電源プラグをコンセントから抜く	万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは。 機器の内部に異物や水などが入ったときは。 この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
 禁止	電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	この機器のキャビネットは絶対に外さない。 キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。
	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
 強制	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。


 注意		以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 強制	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。</p> <p>また、接続は指定のコードを使用する。</p> <p>それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。</p>	
	<p>電源を入れる前には音量を最小にする。</p> <p>突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>	
	<p>この機器は9kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。</p>	
	<p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。</p> <p>異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	
 禁止	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。</p> <p>湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。</p> <p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。</p> <p>火災・感電やけがの原因となることがあります。</p>	
	<p>電源コードを熱器具に近付けない。</p> <p>コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>	
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	
	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>	
 電源プラグをコンセントから抜け	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>	
	<p>旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。</p>	
	<p>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	

安全にお使いいただくために (続き)

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 注意 電池に関する注意	
 強制	<p>電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕ とマイナス⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
	<p>長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。</p>
 禁止	<p>指定以外の電池は使用しない。 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
 分解禁止	<p>金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。 ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。</p>
	<p>分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。</p>

 愛情点検	<p>電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。 5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。</p>
---	---

目次

安全にお使いいただくために.....	2
お使いになる前に.....	5
スピーカーとの接続.....	6
接 続.....	8
各部の名称 (本体).....	10
各部の名称 (ディスプレイ).....	11
各部の名称 (リモコン).....	12
リモコンについて.....	13
基本操作.....	14
ワードシンク.....	16
パソコンと接続して音楽ファイルを再生する.....	16
基本的な設定.....	19
アナログ入力のゲイン設定.....	20
入力切換の端子名とスキップの設定.....	21
工場出荷時の状態に戻すには.....	22
保護回路について.....	22
困ったときは.....	23
寸法図.....	24
リアパネル.....	25
仕 様.....	26
保証とアフターサービス.....	27

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

電源コード×1
 リモコン(RC-1077)×1
 ボタン電池(CR2025)×1
 フェルト×4枚
 取扱説明書(本書)×1
 ご愛用者カード×1

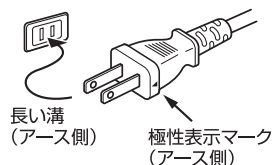
使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 床を傷付けたくない場合は、脚の裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク(▲)は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き(極性)によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。

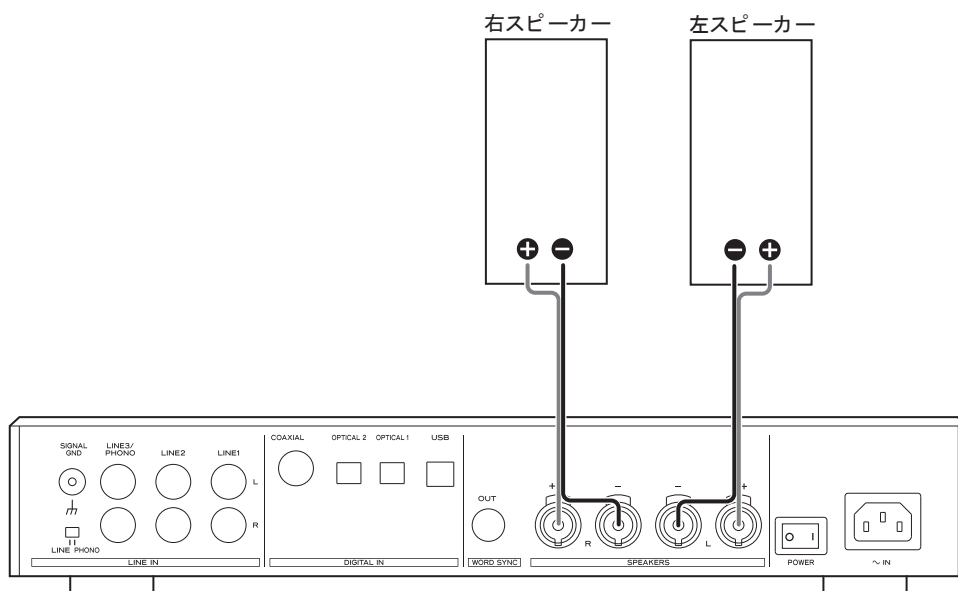


Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

スピーカーとの接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



スピーカーケーブルについて

- 接続には、市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物を使用してください。

接続方法

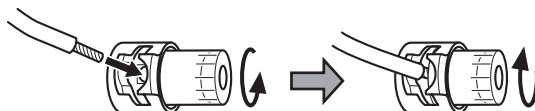
市販のスピーカーケーブルを使って、本機とスピーカーの+端子同士、-端子同士を接続してください。

- スピーカーケーブルの接続は、必ず電源がオフの状態で行ってください。
- 本機にはWBT社製のスピーカー接続端子を採用しています。スピーカー端子のつまみは、左に回すとゆるみ、右に回すと締まります。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のコードや端子と接触すると、ショートすることがあります。スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。

より線の場合

つまみをゆるめ、ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。

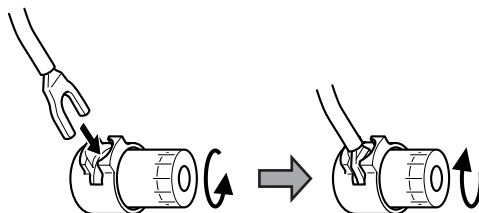
- 差し込める線の太さは、最大で4mmまでです。



Yラグの場合

つまみをゆるめ、ターミナルの差し込み口に端末を差し込み、つまみを締めます。

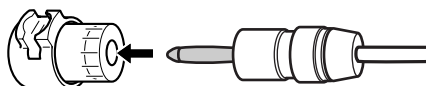
- ラグ端子で接続する場合は、内径8mm以上のものをご使用ください。(推奨ラグ端子: WBT-0681)



バナナプラグの場合

端子正面の差し込み口に端末を差し込みます。

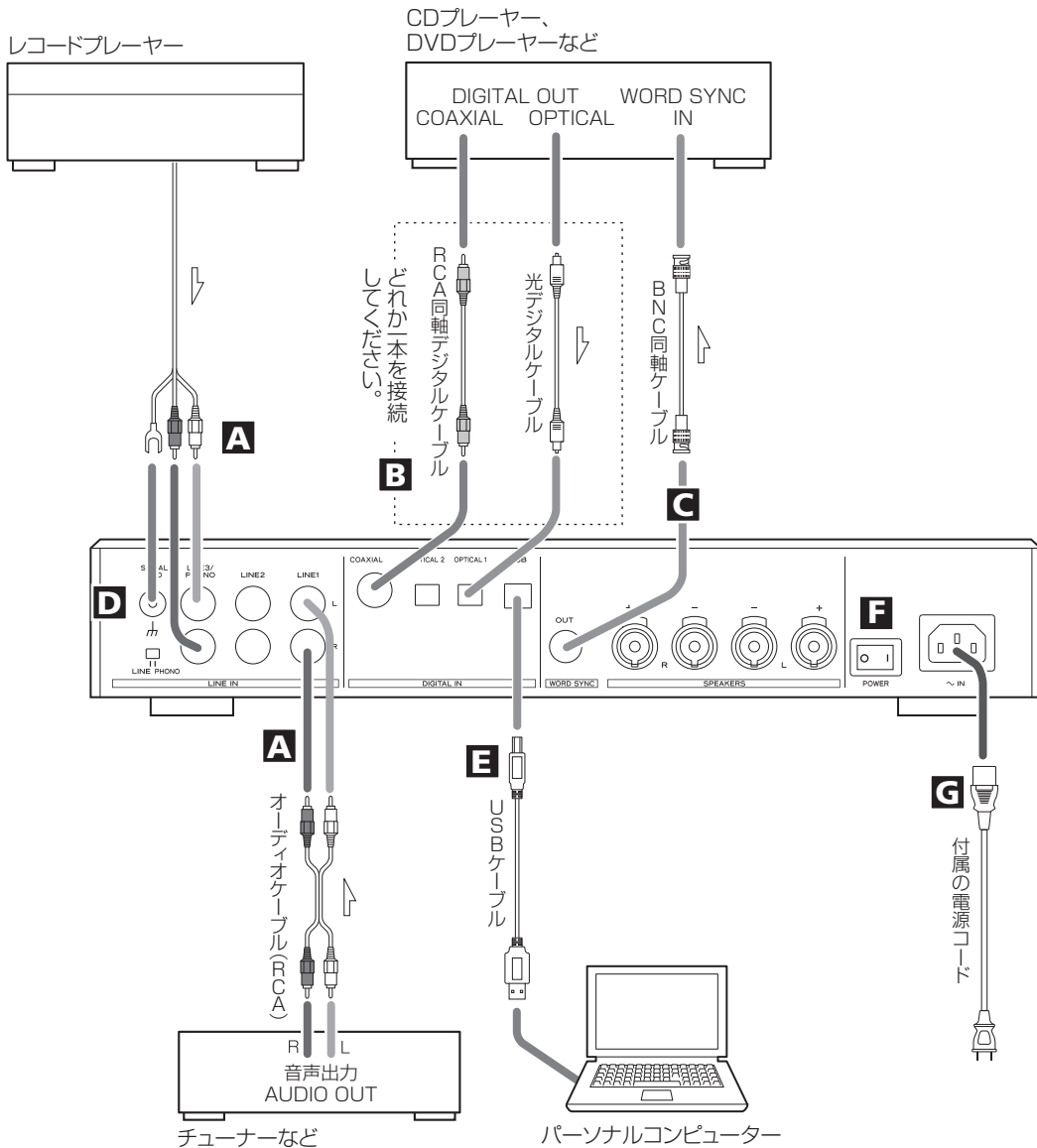
- つまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。



接 続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A アナログ音声入力端子 [LINE IN]

アナログの音声を入力します。カセットデッキやチューナーの音声出力端子と接続してください。市販のRCAオーディオケーブルを使って、白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

LINE3/PHONO端子

LINE3/PHONO端子には、カセットデッキやチューナーだけでなく、レコードプレーヤーを接続することもできます。レコードプレーヤーのアースは、必ず本機のアース端子(SIGNAL GND)と接続してください。レコードプレーヤーのカートリッジは、MMまたはMM相当の出力レベルのカートリッジをお使いください。

LINE/PHONO切換スイッチ

LINE3/PHONO端子にレコードプレーヤーを接続する場合は、スイッチを「PHONO」にしてください。他の機器(カセットデッキなど)を接続する場合は、スイッチを「LINE」にしてください。

B デジタル音声入力端子 [DIGITAL IN]

デジタル音声を入力します。デジタル機器(SZ-1sなど)のデジタル出力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

RCA : RCA同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル

- 本機の光デジタル端子はシャッター式です。接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してシャッターが閉まらなくなることがありますのでご注意ください。

C ワードシンク出力端子 [WORD SYNC]

同期信号(ワードクロック)を出力します。デジタル機器のWORD SYNC IN端子と接続してください。

接続には市販のBNC同軸デジタルケーブル(インピーダンスが75Ωのもの)をお使いください。

D アース端子[GND]

プレーヤーやスピーカーなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。
- LINE3/PHONO端子にレコードプレーヤーを接続するときは、必ず本機のアース端子をレコードプレーヤーのアースと接続してください。

E USB入力端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンのUSB端子と接続してください。

接続には市販のUSBケーブルをお使いください。本機のUSB端子は、USB-Bタイプです。

F 主電源スイッチ [POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。

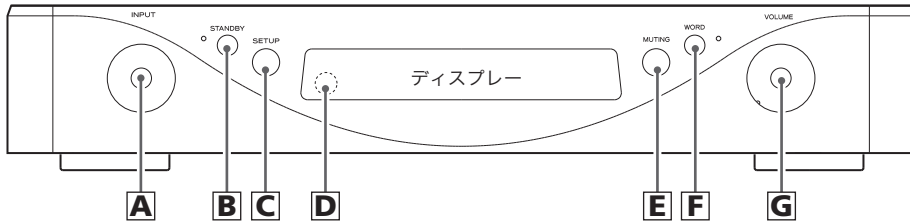
G 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

- ⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください

各部の名称（本体）



A 入力切換 [INPUT]

入力を切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。
設定モードのときは、設定の変更に使います。

B スタンバイボタン [STANDBY]

本体背面の主電源スイッチがオンのときに、このボタンで電源のオン/スタンバイを切り換えることができます。
スタンバイインジケータは、スタンバイ状態のときは赤く、オンのときは青く点灯します。

C セットアップボタン [SETUP]

このボタンを軽く押すと「基本的な設定」モードになり、ディスプレイに設定が表示されます。(19ページ)
このボタンを2秒以上押した場合は、「アナログ入力のゲイン設定」または「入力切換の端子名とスキップの設定」モードになります。(20～21ページ)

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(13ページ)

E ミュート [MUTING]

一時的に音を小さくします。(15ページ)

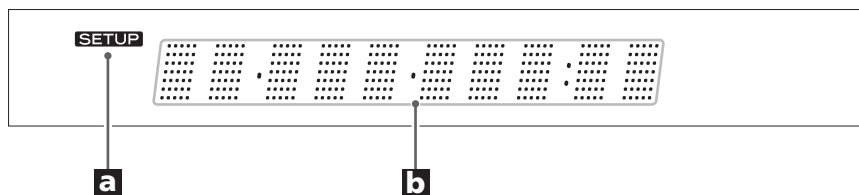
F ワードボタン [WORD]

ワード出力のオン/オフを切り換えます。(16ページ)
オンのときは、インジケータが点灯します。

G 音量つまみ [VOLUME]

音量を調節します。

各部の名称（ディスプレイ）



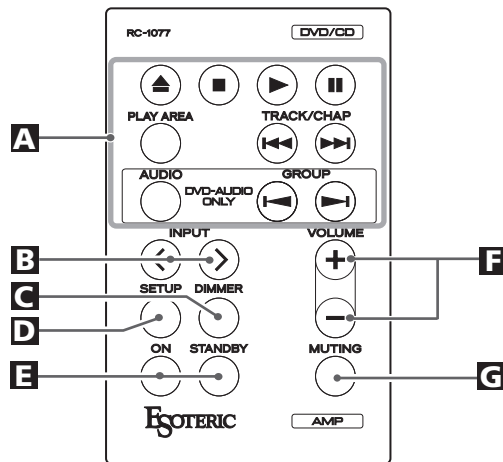
a セットアップインジケータ
設定中に点灯します。

b メッセージ表示部
選択されている入力、入力された信号のサンプリング周波数、音量などが表示されます。

通常は、ディスプレイの左側に「現在の入力」、右側に、「入力されているデジタル信号のサンプリング周波数」、または「ボリューム値」が表示されます。

デジタル入力時に正しくロックできない場合、入力名称表示が点滅します。

各部の名称 (リモコン)



A プレーヤーの操作ボタン

これらのボタンで、エンテリックのSZ-1sなどのプレーヤーを操作することができます。

これらのボタンを押すときは、リモコンの先端をプレーヤーのリモコン受光部に向けてください。

このリモコンにないボタンが必要なときは、各機器専用のリモコンをお使いください。

B 入力切替 [INPUT]

入力を切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。

C ディマーボタン [DIMMER]

本体のディスプレイの明るさを4段階で調節できます。(15ページ)

D セットアップボタン [SETUP]

このボタンを押すと設定モードになります。

(19～21ページ)

E オン/スタンバイボタン [ON/STANDBY]

本体背面の主電源スイッチがオンのときに、ONボタンを押すとオンに、STANDBYボタンを押すとスタンバイに切り換わります。

F 音量 [VOLUME]

音量を調節します。

G ミュート [MUTING]

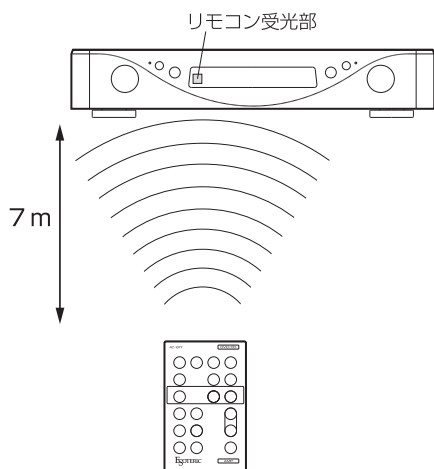
一時的に音を小さくします。(15ページ)

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

リモコンについて

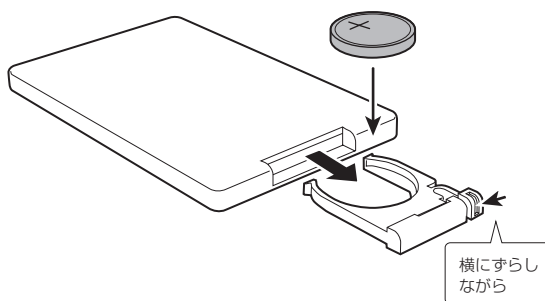
使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。また、角度により受信しにくい場合もありますので、できるだけ正面から操作してください。
- エンテリックのSZ-1s用のボタンを使うときは、リモコンの先端をSZ-1sのリモコン受光部に向けてください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。



電池の入れ方

リモコン下部のフタの溝に爪を引っかけて横にずらしながら、手前に引っばって、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認してボタン電池(CR2025)を入れたら、もとの場所に押し込み、フタを閉めてください。



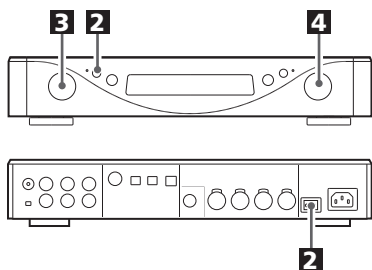
電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、新しい電池に交換してください。

電池についての注意

- ⚠ 電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。4ページの注意をよく読んでご使用ください。

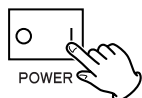
基本操作



1 接続した機器の電源をオンにする。

本機より先に、接続した機器の電源をオンにしてください。

2 本体背面の主電源スイッチをオンにする。



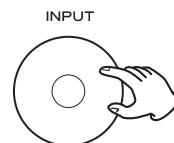
主電源スイッチはオンで、スタンバイインジケータが赤く点灯している場合は、STANDBYボタンを押してオンにしてください。インジケータの色が青になります。

スタンバイインジケータ



- 電源をオンにした直後の数秒間は、音が出ません。「WAIT...」が消えるまでお待ちください。

3 INPUTつまみを回して入力を選ぶ。



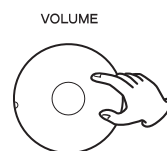
つまみを回すたびに入力切り換わり、端子名がディスプレイの左側に表示されます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。

COAX、OPT1、OPT2、USB、
LINE1、LINE2、LINE3またはPHONO*

- * 出荷時の設定では、本体背面のLINE/PHONO切換スイッチ(9ページ)がLINEのときは「LINE3」、PHONOのときは「PHONO」が表示されます。

- ディスプレーに表示される入力名は変更することができます。(21ページ)

4 ソースを再生して音量を調節する。



音量は右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

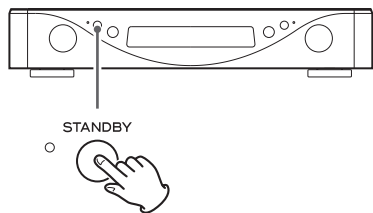
突然大きな音が出ると、聴覚障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

電源をオフにするときは

不用意に電源を切るとスピーカーからノイズが出る場合があります。本機の電源をスタンバイまたはオフにするときは、以下の手順に従ってください。

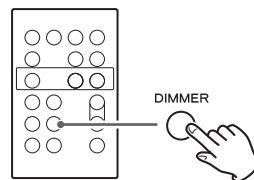
1 接続した機器が再生中の場合は、再生を停止する。

2 本機のSTANDBYボタンまたは主電源スイッチを使って、本機の電源をスタンバイまたはオフにする。

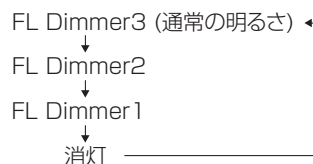


3 接続した機器の電源をスタンバイまたはオフにする。

ディマー

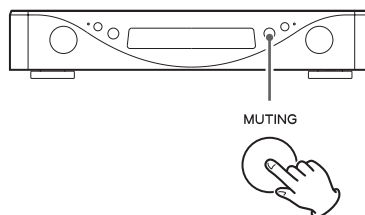


リモコンのDIMMERボタンを押すと、本体のディスプレイの明るさを4段階で調節できます。



● 消灯中に音量を変えたりすると、約3秒間だけディスプレイが点灯します。

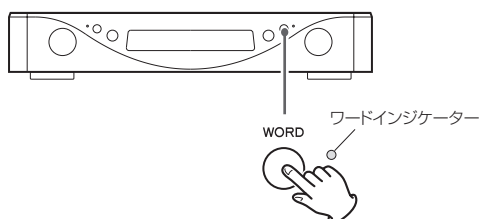
ミュート (消音)



MUTINGボタンを押すと、一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

● ミュート中は、ディスプレイに「MUTING」と入力端子名が交互に表示されます。

ワードシンク



エソテリックのSZ-1sなど、ワード入力端子のある機器をAZ-1sと同期させて再生するときに使用します。

WORDボタンを押すたびにオンとオフが切り換わります。

- 各入力に対して独立でワードシンクのオン/オフが設定できます。

W_OUT+周波数 (オン)

内部でワードクロックを生成して出力します。
WORDボタンのインジケータが点灯します。

出力するワードクロックの周波数は、19ページの手順で変更できます。

- あらかじめWORD SYNC端子を接続しておいてください。
- クロックの感知中は「WRD CHKING」が表示されます。クロックの感知には数秒かかります。入力されているデジタル信号とワードクロックが正しく同期できていない場合は「WRD ERROR!」が表示されません。

WORD OFF (オフ)

ワードシンクを使用しません。
WORDボタンのインジケータは消灯します。

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する

本機のUSB入力端子とパソコンをUSBケーブルで接続して、パソコンの音声を本機に入力することができます。USB接続できるパソコンのOSはMicrosoft「Windows XP」、「Windows Vista」のいずれかとなります。これ以外のOSでは動作は保証いたしません。

- パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記のOSを使用しても動作できない場合があります。

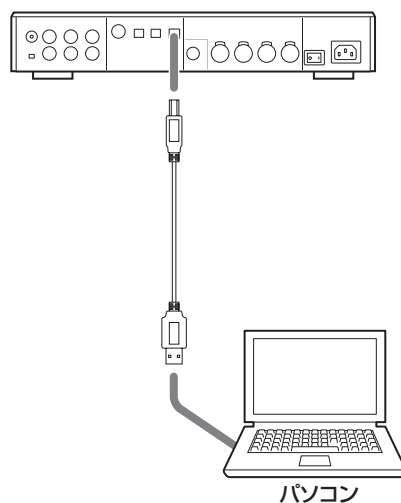
1 パソコンの電源を入れる。

OSが正常に起動したことを確認してください。

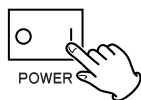
2 USBケーブルでパソコンと本機を接続する。

ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。本機のUSB端子は、USB-Bタイプです。

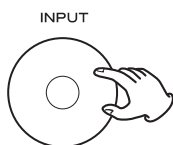
- 初めてパソコンと本機を接続した場合は、パソコン側で本機のUSBポートを自動検出し、ドライバーがインストールされます。パソコンの指示に従って、ドライバーのインストールを完了してください。
- 本機の電源がオフでも、パソコンは本機とのUSB接続を認識します。



3 本体背面の主電源スイッチをオンにする。



4 INPUTつまみを回して「USB」を選ぶ。(14ページ)



5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調整は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調整するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

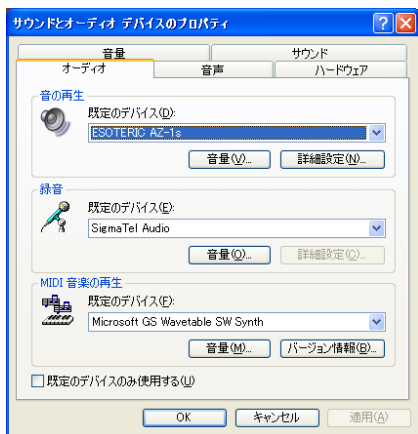
- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機からUSB経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。
- USB接続で音楽ファイルを再生しているときに、USBケーブルの抜き差しを行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ずパソコンの音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
- USB接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。
- パソコンの環境によっては、USB上のデータ伝送速度が確保できず、音が途切れたり、ノイズが発生したりする場合があります。また、音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動した場合も、音が途切れたり、ノイズが発生したりする場合があります。
- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。
- パソコンとUSB接続されていると、本機の電源がオフであっても、パソコンは本機とのUSB接続を認識し、本機から音を出そうとします。パソコンに直接接続されたスピーカーやヘッドホンから音を出したい場合は、USBケーブルを抜くか、パソコンのサウンド出力デバイスの設定を変更してください。(18ページ)

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する (続き)

対応OSを使い、上記の接続を行っても正しく音声が出力できない場合は、以下の点を確認してください。

Windows XP の場合

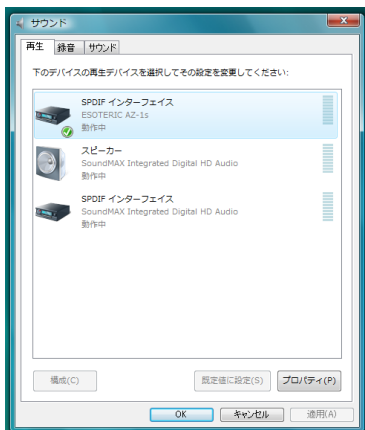
- 「コントロールパネル」 → 「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」 → 「オーディオ」 → 「音の再生」 → 「既定のデバイス」で「ESOTERIC AZ-1s」が選択されていることを確認してください。



- 本機からではなく、パソコンに直接設定されたスピーカーやヘッドホンから音を出したい場合は、「規定のデバイス」を本機以外のデバイスに設定し直してください。

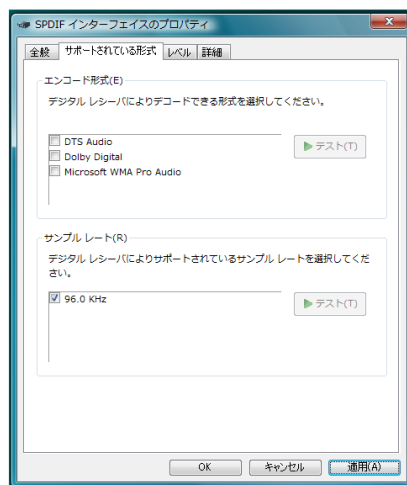
Windows Vista の場合

- 「コントロールパネル」 → 「サウンド」 → 「再生」で「SPDIFインターフェイス ESOTERIC AZ-1s」が選択されていることを確認してください。

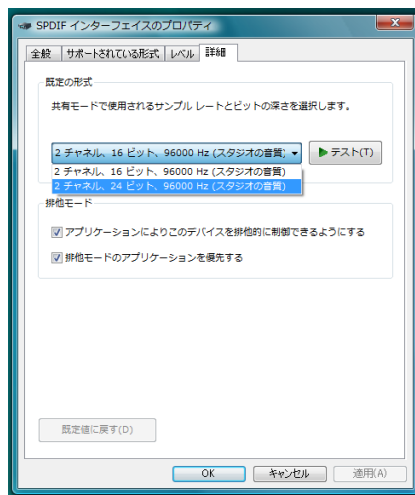


さらに下記の設定をすることをお勧めします。

- 「SPDIFインターフェイス」を選択して「プロパティ」をクリックしてください。「サポートされている形式」のタブをクリックし、「エンコード形式」のチェックを外してください。サンプルレートの「96.0kHz」にチェックを入れてください。

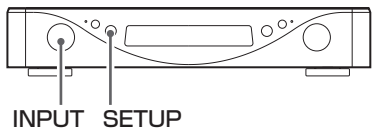


- 「詳細」のタブをクリックしてください。「2チャンネル、24ビット、96000Hz」を選択してください。



- 再生する音楽ファイルの形式に関わらず、USB接続では96.0kHzのPCM信号で、送られます。

基本的な設定



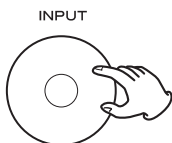
1 SETUPボタンをくり返し押し、変更する項目を選ぶ。



SETUPボタンを押す度に、ディスプレイの表示が変わります。

- 10秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

2 INPUTつまみを回して、設定を変更する。



3 通常の表示になるまでSETUPボタンをくり返し押し、設定を終了する。



SETUPボタンをくり返し押し、ディスプレイを通常の表示に戻してください。
または、10秒以上放置すれば通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

変更できる項目と設定

ワード出力周波数 (W_OUT)

WORDボタンでW_OUT(オン)を選択したときに出力するワードの周波数(KHz)を選びます。
出荷時は44.1に設定されています。

100 ↔ 44.1 ↔ 88.2 ↔ 176(176.4)
↔ 48 ↔ 96 ↔ 192

- 各入力に対して独立でワード出力周波数が設定できます。

表示設定(DISP)

通常表示のときに、「入力サンプリング周波数(Fs)」を表示するか、「ボリューム設定値(VOL)」を表示するかを設定します。

- 入力サンプリング周波数は、COAX、OPT1、OPT2のときに表示できます。

リモコン設定(SZ-1sリモコン)

オンにすると、SZ-1s付属のリモコン(RC-1055)を使って音量の調節、入力の選択を行うことができます。
RC-1055を使わない場合はオフにしてください。

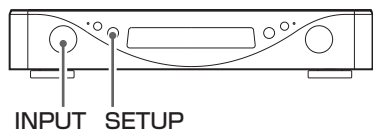
ディマー設定(DIMMER)

本体のディスプレイの明るさを調節できます。リモコンのDIMMERボタンでできるのと同じ設定です。
(15ページ)

(通常の表示)

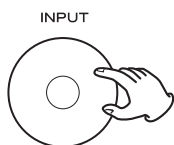
設定を終了します。

アナログ入力のゲイン設定



アナログ音声入力端子に接続された機器からの入力レベルの差を低減し、通常使うボリューム位置を大きく変化させる手間を省くために、各アナログ入力(LINE 1、LINE2、LINE3/PHONO)に対して、ボリューム値のオフセットを設定することができます。

- 1** INPUTつまみを回して、オフセットを設定したい入力(LINE 1、LINE2またはLINE3/PHONO)を選ぶ。



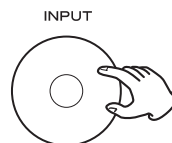
- 2** SETUPボタンを2秒以上押し続ける。



ディスプレイの表示が変わったら指を離してください。LINE1の場合は「GainL1>***」、LINE2の場合は「GainL2>***」、LINE3/PHONOの場合は「GainL3>***」が表示されます。
(***の部分は現在のオフセット値です。設定によって異なります)

- 10秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

- 3** INPUTつまみを回して、オフセット値を変更する。



0、+3、+6、+9、+12、+15、+18、+21、+24の中から選んでください。

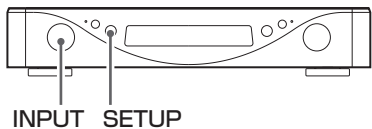
- 4** SETUPボタンを2秒以上押して、設定を終了する。



ディスプレイが通常の表示に戻ります。
10秒以上放置した場合も、設定を終了します。

- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。
- SETUPボタンを軽く押した場合は、「入力切換の端子名とスキップの設定」(次ページ)の**1**の状態になりますので、続けて設定できます。

入力切換の端子名とスキップの設定



入力切換つまみ(INPUT)をまわしたときにディスプレイに表示される端子名を、あらかじめ登録された名前(CDなど)に変更することができます。

機器が接続されていない端子は、入力切換つまみ(INPUT)をまわしたときにスキップするように設定することもできます。

たとえば、COAX1端子にCDプレーヤー、OPT1端子にDVDプレーヤーを接続している場合、COAX1端子を「CD」、OPT1端子を「DVD」、その他の端子を「*skip(スキップ)」に設定すると、入力切換つまみ(INPUT)をまわしたときに「CD」と「DVD」だけが表示されるので、目的の端子を選びやすくなります。

1 SETUPボタンを2秒以上押し続ける。



ディスプレイに「L-1>***」が表示されたら指を離してください。(***の部分は設定によって異なります)

入力切換がLINE 1、LINE2またはLINE3/PHONOだった場合は、SETUPボタンを2秒押しすと「GainL*>***」が表示されます。SETUPボタンをもう1回軽く押しして、「L-1>***」を表示させてください。

- 10秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

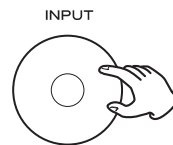
2 SETUPボタンをくり返し押して、変更する端子を選ぶ。



SETUPボタンを軽く押しす度に、ディスプレイの左側の表示が変わります。

L-1(LINE1) → L-2(LINE2) → L-3(LINE3/PHONO) → COA(COAXIAL) → O-1(OPTICAL1) → O-2(OPTICAL2) → USB → (通常の表示)

3 INPUTつまみを回して、設定を変更する。



以下の中から選ぶことができます。

出荷時の端子名、CD、SACD、DVD、TUNER、MD、CD-R、TAPE、PHONO、MP3、TV、SAT、CATV、DVD-R、VCR、*skip(スキップ)

- LINE3端子の「出荷時の端子名」は、本体背面のLINE/PHONO切換スイッチがLINEのときは「LINE3」、PHONOのときは「PHONO」になります。
- 全ての端子を「*skip」に設定すると、スキップは機能しません。

4 SETUPボタンを2秒以上押しして、設定を終了する。



ディスプレイが通常の表示に戻ります。

10秒以上放置した場合も、設定を終了します。

- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

工場出荷時の状態に戻すには

設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

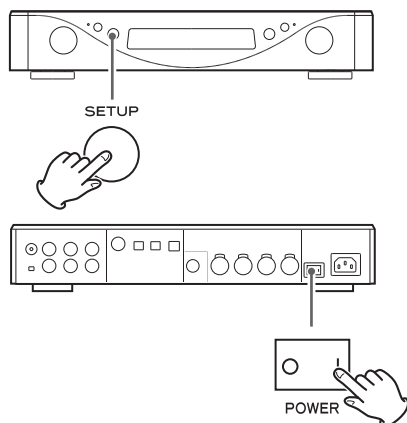
以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1. 主電源をオフにする。

電源がオンだった場合は、オフにしてから30秒以上待ってください。

2. SETUPボタンを押しながら主電源をオンにする。

「Setup CLR」が表示されたら、SETUPボタンから指を離してください。



保護回路について

本機には出力短絡保護回路と過熱保護回路が内蔵されています。

出力短絡保護回路が働くと、「OVER LEVEL」がディスプレイで点滅します。スピーカーケーブルの+と-がショートしている可能性がありますので、主電源スイッチをオフにして、スピーカーとの接続を確認してください。接続に問題が無い場合は、音量が大きい為に出力保護回路が働いている可能性があります。音量つまみを左に回して音量を少し下げてください。

過熱保護回路が働くと、「HIGH TEMP」がディスプレイで点滅します。内部の温度が高くなっていますので、主電源スイッチをオフにして温度が下がるまでお待ちください。また、放熱をよくするために、風通しの良い場所に設置してください。

原因を取り除いても保護回路が働く場合は、ティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

電源が入らない。

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ➔ 本体の電源スイッチを押してオンにしてください。（14ページ）

リモコンで操作できない。

- ➔ 本体の電源をオンにしてください。（14ページ）
- ➔ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。（13ページ）
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。（13ページ）

テレビなどが誤動作する。

- ➔ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

音が出ない。

- ➔ 音量つまみを回して音量を調節してください。
- ➔ スピーカーや再生機器との接続を確認してください。
- ➔ 接続した機器の設定を確認してください。
- ➔ スピーカーコードの+と-がショートしている可能性があります。スピーカーコードの接続を確認してください。

デジタル接続した機器の音が出ない。

- ➔ 本機にはドルビーデジタル/DTS/MPEG等のデコード機能がありません。DVDプレーヤー等のデジタル出力端子と接続する場合、プレーヤー側の「デジタル音声出力」の設定はPCMにしてください。または、アナログ音声入力端子(LINE IN)をお使いください。（9ページ）

プレーヤーでスーパーオーディオCDを再生したときに音が出ない。

- ➔ スーパーオーディオCDのデジタル音声は、本機では入力できません。アナログ信号入力端子に接続して再生してください。

ステレオ/サラウンドの定位が不安定。

- ➔ 接続コードの+と-が逆になっているスピーカーがないか確認してください。

「ブツ、ブツ……」と周期的なノイズが出る。

- ➔ AZ-1sがワードシンクモードなのに、接続している機器がワードシンクモードになっていない可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。通常はWRD ERROR表示をしますが、AZ-1sのワードエラー検出限界よりもさらに小さなずれしかない場合、この現象が起こることがあります。

「WRD ERROR!」が表示される。

- ➔ 入力されているソースの周波数がワード周波数と一致していません。CDの再生時は、ワード周波数は44.1、88.2、または176.4kHzにしてください。（19ページ）
- ➔ ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。
- ➔ ワードシンク機能のない機器をお使いの場合は、本機のWORDボタンをオフにしてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

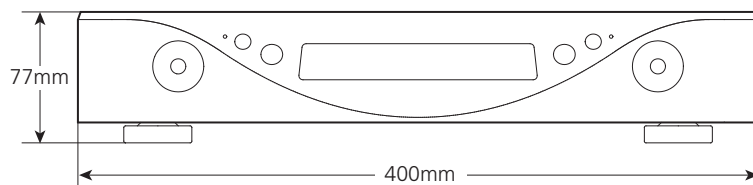
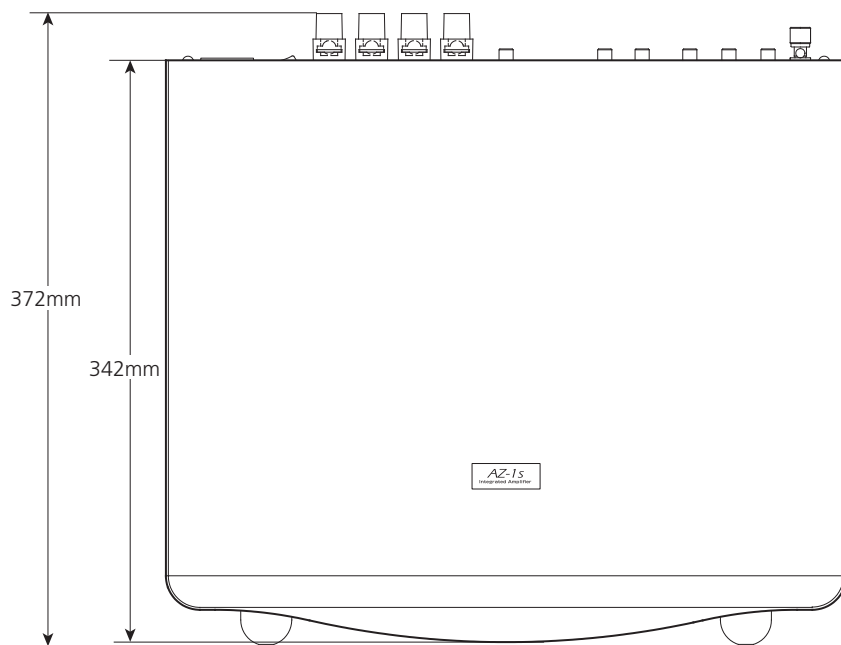
お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

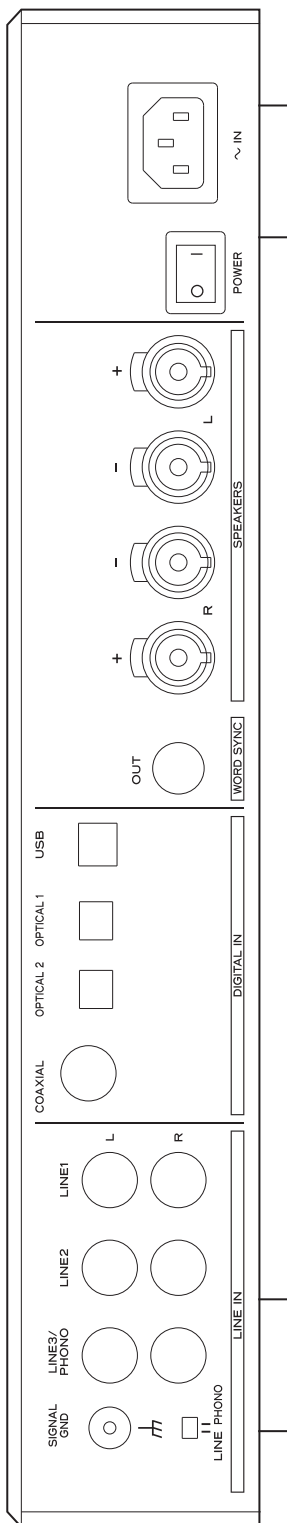
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

- ⚠️ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

寸法図



リアパネル



仕 様

スピーカー出力

実用最大出力	60W+60W (JEITA)
定格出力	50W+50W (1kHz、1%、6Ω、LPF 20kHz)(JEITA)
適合最小インピーダンス	4Ω
定格インピーダンス	6Ω
周波数特性	5Hz~70kHz、+0dB、-3dB (JEITA)
全高調波歪率	0.03% (1kHz、出力1W、6Ω、LPF 20kHz)(JEITA)
S/N比	LINE: 100dB (JEITA)
	COAXIAL、OPTICAL、USB: 105dB (JEITA)
入力感度 (ボリューム最大で定格出力を得るレベル)	LINE : 164mVrms (JEITA)
	PHONO (MM): 3.7mVrms (JEITA)
出力端子	スクリュータイプ (WBT) (バナナプラグ対応)

音声入力

アナログ入力

端子	RCA×3系統
入力インピーダンス	LINE : 100kΩ (JEITA)
	PHONO (MM) : 39kΩ (JEITA)
RIAA偏差 PHONO (MM)	20Hz ~ 15kHz、±0.5dB (JEITA)

デジタル入力

COAXIAL入力	RCA×1 (0.2Vpp以上/75Ω)
OPTICAL入力	光デジタル×2 (-24.0 ~ -14.5dBm peak)
USB入力	USB Type B×1 (USB 1.1以上)

ワードクロック出力

出力端子	BNC
出力レベル	TTLレベル相当/75Ω
出力周波数	44.1、88.2、176.4、48、96、192、100 (kHz)

一般

電源	100V AC 50-60Hz
消費電力	.80W (スタンバイ時4.3W)
外形寸法 (W×H×D、突起部を含む)	400mm×77mm×372mm
質量	.9kg
許容動作温度	+5℃ ~ +35℃
許容動作湿度	5% ~ 85% (結露のないこと)
許容保管温度	-20℃ ~ +55℃

付属品

電源コード×1	フェルト×4枚
リモコン(RC-1077)×1	取扱説明書(本書)×1
リモコン用ボタン電池(CR2025)×1	ご愛用者カード×1

JEITAは電子情報技術産業協会規格に定められた測定法によるものです。
仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、ご購入後なるべく1ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から5年です。

- 保証書発行には約1ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合(6ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等)は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
 - (7) 保証書の提示がない場合
 - (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

23ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：インテグレートッドアンプ AZ-1s

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な回収費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.esoteric.jp>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~12:00/13:00~17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話等からはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。